

まなび

発行 松永生涯学習センター編集室
 住所 福山市松永町三丁目1番29号
 電話 084-934-5443
 FAX 084-934-8251
 メールアドレス
 matunaga-shougai-gakushuu@
 city.fukuyama.hiroshima.jp

生涯学習への誘い

ふくやま文学館 特別展

「今井絵美子 人情と自然と」

に見る 時代小説の世界

この展示は、ふくやま文学館で9月15日(金)~11月26日(日)に開催します。



気づばがいい茶屋の女将
 人間味あふれる町医者

江戸時代に息づいた
 義理と人情

福山出身の作家が描く
 作品の舞台裏を学芸員
 さんに伺います



今井絵美子 撮影：谷口雅彦

ふくやま文学館 学芸担当
講師 小川 由美

とき 10月13日(金)
 10時30分~12時
会場 松永図書館 集会室
 (西部市民センター1階)

主催：福山市松永生涯学習センター
 福山市松永図書館
 問合せ：電話084-934-5443
 FAX084-934-8251
 ※この講座は松永生涯学習センター人権・社会教育
 活動事業として実施します。



西部市民センターまなびサロン【10月】

「許すな！戸籍の不正取得」パネル【展示】

戸籍謄本や住民票の写しなどの個人情報をも不正取得し、売買する事件が発生しています。個人の権利侵害を防止するため、福山市では「登録型本人通知制度」を実施しています。ぜひご覧ください。

期間 10月13日(金)~10月27日(金)
 場所 西部市民センター 1階エントランス

【おりばらサロン】

どなたでもご参加いただけます。はじめての方も大歓迎です。
 日時：10月13日(金) 13時30分~15時
 場所：西部市民センター1階サロン

【問合せ】 松永生涯学習センター
 (電話 084-934-5443)






報告

ビッグ サマー ストーリー
BIG SUMMER STORY


～キミとつくる夏～

8/26(土)



8月26日(土)に西部市民センターで、「ビッグサマーストーリー」を開催しました。

パワフルサマーステージや子どもチャレンジ広場など、さまざまなコーナーに、「みて・ふれて・体験する」ことで、参加者みなさんに楽しんでもらうことができました。さらに福山市立大学のみなさんによる紙芝居では、平和の大切さを考える機会になりました。

多くのみなさま、ご参加いただきありがとうございました。



このイベントは「ボランティアの活躍の場」と「子どもたちの体験・発表の場」の提供を目的に実施しています。



まつながさんぽ(柳津編)



まつなが応援隊「まつなが colors (カラーズ)」(20代30代の方)を中心に、自分たちの住む地域のことを知ってほしいと計画しました。今回は柳津の歴史について学びます。

楽しく交流をしながら、まつながエリアを歩き、地域の文化や歴史にふれてみませんか?

日時 11月11日(土) 10:00~(2時間程度)

集合場所 福山市柳津公民館 駐車場

講師 田口 義之さん(備陽史探訪の会 会長)

さんぽコース 県史跡馬取遺跡、橘神社ほか。歩きやすい服装、飲み物持参でご参加ください。

対象 20代・30代の方を中心に、どなたでも 定員 20人

参加費無料・要申込み

申込み先 松永生涯学習センター

電話 084-934-5443 FAX 084-934-8251

Mail: matunaga-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp



情報びっくり箱

神村コミュニティセンター (934-3445)

人権啓発講座

★理解しよう発達障がい

「認めることの大切さ」

～あなたはあなたのままでいい～

●とき 10月25日(水) 18時30分～

●講師 うみの ひろさん(仮名)

「発達障がいの『本質』とは？」

～幼児期・学齢期・成人期それぞれ

の本人たちの思いに寄り添う～

●とき 11月29日(水) 18時30分～

●講師 永井 智樹さん(基幹相談支援センター
クローバー 相談支援専門員)

*いずれも

●ところ 西部市民センター 2階ホール

●内容 発達障がいについて正しい知識をもち
学習を深めていく

●対象者 どなたでも

●定員 なし(要申込み)

●託児あり(要申込み)

●問合せ・申込み 神村コミュニティセンターへ

健康ふくやま21フェスティバル2017& 第41回福山市緑化祭&第41回ふれあい福祉まつり

●とき 10月21日(土) 22日(日)

10時～16時

●ところ 緑町公園・ローズアリーナ

●内容 健康相談, リズム体操, ふれあいミニ
動物園, 福祉活動・施設等の紹介と展
示など『健康』や『福祉』『緑のまち
づくり』に関するイベントが盛りだく
さん!

●問合せ 福山市保健所総務課
(TEL084-928-1164)

福山市健康推進課
(TEL084-928-3421)

福山市公園緑地課
(TEL084-928-1096)

福山市社会福祉協議会
(TEL084-928-1333)



ふくっぴー

松永図書館 (933-3770)

★展示

「秋に楽しむ映像化作品」

●期間 10月6日(金)～11月20日(月)

●内容 芸術の秋・読書の秋にちなみ, 映画など
で映像化された本の展示と貸出

「美人が絵はがき展」

●期間 10月18日(水)～11月30日(木)

●内容 揚州周延の千代田の大奥シリーズを中心
に, 鈴木春信や東郷青児など, 女性をモ
チーフにして描かれた美人画絵はがきの
展示



<10月の定例行事>

★あかちゃんといっしょのおはなし会

●とき 10月9日(月)・10日(火)

11時～11時30分

●対象 乳幼児とその保護者

★松永読書会

●とき 10月16日(月)

10時～12時

●読本 「新編銀河鉄道の夜」

宮沢 賢治/著 新潮社

★さくらんぼの会(こどもの本を楽しむ会)

●とき 10月23日(月) 10時30分～12時

●読本 「月にハミング」

マイケル・モーパール/作

杉田 七重/訳

小学館



<<図書館のお休み>>

10月17日(火) 休館日



放送大学

受講料無料!

公開特別講座のご案内

●とき 10月7日(土) 10時30分～12時

●講師 中尾 佳行先生(福山大学教育センター教授)

●内容 騎士道・宮廷恋愛ロマンスを読み解く

●とき 10月8日(日) 13時～14時30分

●講師 廣重 佳治先生(福山市立大学名誉教授)

●内容 心理学からみた常識の世界

*いずれも

●ところ まなびの館ローズコム

●問合せ 放送大学福山サテライトスペース

福山市霞町1-10-1

(まなびの館ローズコム 3階)

TEL084-991-2011

FAX084-991-2012

ふくやま人権大学 2017

11月 各回とも
 は 「子どもの生きる力になれるゼミ」 **時間 19:00~21:00**
会場 人権交流センター
 (福山市佐波町262-3)

7日(火)

NPO法人
 学習支援ヴァパウス
 代表者 **木村素子** さん



「子どもの現状 ①」
 ~ 学習支援の取り組みから ~

「子どもの思いに垣根はない」経済格差が学力格差を生むといわれている今の社会のなかで、生きづらさを感じている子どもたちが夢を持てる支援の取組(学習の場・居場所づくり)についてお話しいたします。

14日(火)

ゼノ少年牧場
 子どもの未来応援事業
 未来も笑おうプロジェクト

プロジェクトリーダー **佐藤勝則** さん

「子どもの現状 ②」
 ~ 居場所づくりの取り組みから ~

近年は、貧困や外国にルーツを持つなど、様々な子どもの状況があります。ゼノは、松永で子どもたちと一緒にごはんを作ると「居心地イイネ!」と思える居場所を作っています。今回は、この取組の経過や思いをお話しいたします。

21日(火)

LGBT当事者・
 元保健室の先生



井上鈴佳 さん

先生・家庭・窓口の人をサポート
 ~ LGBT当事者が語る”知ってほしいこと” ~

より多くの方が多様性を認め合い、誰もが自分らしく自信を持って生きることができる社会の一端を担うべく、教職員研修会での講演や子どもたちへの出張授業などを精力的に活動されています。今回は、LGBT当事者としての思いを伝えていただきます。

28日(火)

ワークショップ「私はどうする？」

~ 子どもたちの生きる社会の中で ~

3回の講座をふり返り、生きづらさを感じている子どもたちに、傍らにいるおとなの一人として「どんなサポートができるか?」を、みなさんと一緒に考え交流します。

- 手話通訳 必要な方は事前にご連絡ください。
- 主催 人権・生涯学習課
- 問い合わせ・TEL(084)928-1006
 申し込み FAX(084)928-1229
 E-Mail jinken-shougaigakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

- 定員 30人(申し込みが必要です)
- 受講料 無料
- 駐車場 あります。
- ふくやま人権大学ホームページ ⇒⇒




●●● ゲタなび ●●●

松永最大のイベント、ゲタリンピックが台風で中止になりました。24年目で初めてのこと。改めてチラシを見ると、楽しい催しがずらり並んでいました。企業など約600の協賛をいただき“届けよう!⇄集めよう!“ありがとう。”をテーマに準備を進めた実行委員会や、50ものブースの関係者や、ステージの練習を重ねた出演者などの苦労を思うと実に残念。ただ、イベントとは苦労ゆえに「人を育て地域を温めるもの」といつも感じます。



松永では、100年以上前の1909年に第1回沼隈郡青年大会が開かれました。約1万人が集い社会の支柱となる若者が育ちました。その片鱗が「ゲタリンピックの要所に見受けられます。来年は快晴に恵まれ、6万人が集うこの「松永愛」に満ちた手作りイベントが成功し、関わる全ての人の苦労が報われますよう心から願います。

 視覚障害などの理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。